

## 会議概要録

### 開催概要

- 名 称：第4回 東区自治協議会 第1部会
- 日 時：平成22年7月9日（金） 午前10時00分～午前12時00分
- 場 所：東区役所分館 会議室
- 出席者：委員  
岩橋委員、新保委員、田村委員、  
山田委員、橋本委員  
：事務局  
地域課企画係職員、地域課長

### 審議内容

#### (1)「東区自治協議会の更なる発展に向けて」のアンケート結果に対する改善提案・意見のとりまとめについて

- 先月に引き続き、東区の自治協議会委員の全員を対象に実施されたアンケートにおいて出された課題・問題点に対し第1部会から改善案を提言するため、個々の課題について改善案や意見を出し合いました。
- 本会議での口頭による部会報告では、聞き逃すことや十分理解できないこともある。  
→口頭による報告だけではわかりにくい。箇条書きでもよいのでペーパーを作ってもらいたい。  
→議題によっては資料を事前配布し意見を求めるのも良いと思う。
- 本会議と部会の関係が明確ではなく、部会での検討結果の概略が本会議で報告されているのに過ぎないのではないか。  
→問題があれば部会で話し合い、その結果を本会議で報告するというように、本会議と部会の関係そのものは出来ている。  
→おそらくは部会で議論がなかなか進まない、または議題そのものが明確ではないという状況で部会の成果が明瞭に表れず、ともするとまどろっこしいとも感じることもあることに対する意見ではないか。  
→現時の本会議での部会の報告は、簡単な結果の報告のみでもっと経過や内容を詳しく知りたいということではないだろうか。  
→部会での内容を十分に理解してもらうためには、やはり本会議での報告の時にペーパーを用いたほうが良いと思う。

- 部会での議論は課程が重要なのであり、複数の検討結果をもって本会議で再度検討しても良いのではないかと。

→部会長の説明後に追加説明・補足説明を促すことは現在も行なわれているが、今後もこれを継続し、また利用するよう心がけるべきである。

- 都合が付けば、他の部会も傍聴してみたい。

→事前に申し込めば傍聴ではなく他の部会の委員と同様に議論に参加することが出来る。

- 部会では問題や課題を封じないこと。

→少なくとも第1部会ではこのようなことが起きたという記憶がない。

→本会議は30人もいるので発言はなかなか難しいと思うが、部会は10人足らずなので何でも言うことが出来ると思う。

→このようなことはないと思うが、部会は自由闊達な議論の場であるべきである。

- 自治協議会の中で、コミュニティ協議会の活動や抱えている問題点あまり見えない。

→これまでコミュニティ協議会の中で生じた問題はそのコミュニティ協議会自体やコミ協連絡会議で解決している。

→自治協議会はコミュニティ協議会の問題を掘り返すことが役割ではない。

→コミュニティ協議会では解決できない問題が生じた場合に自治協議会がその問題に取り組むというのが自治協議会のあり方だと思う。

- 自治協議会とコミュニティ協議会の一部はようやく連携できるようになってきたが、区民との連携はまだ不十分。

→出来て4年足らずということで、成果もまだ十分にまとまっていないということを考えると、これから時間をかけて連携を密にし、区民へ周知していくのが大切ではないだろうか。

→いまだに自治連合とコミュニティ協議会の違いがわからない人もいるなど、まだコミュニティ協議会に関してすら認知は低いところが見られる。

→コミュニティ協議会も徐々に機能し始めており、今後より理解されていくのではないかと。

- 自治協議会やコミュニティ協議会の仕組みや活動が見えてこない。

→自治協議会委員である以上自分で勉強してもらいたい。

→コミュニティ協議会の活動についてはそれぞれのコミュニティ協議会で異なるので見えにくい部分もあるが、仕組みはしっかりとしていると思う。

→新任の委員や希望する委員には事務局が過去の議事録を配布して勉強会を行なうなど、オリエンテーションを行なえばよいのではないだろうか。そうすれば新任の委員も早く自治協議会になじむことが出来ると思う。

- 区民の多くが、いまだに自治協議会の存在や役割を認知、理解していない。
  - 最近是一般の人から「自治協議会は何をやっているのか」と聞かれることもあり、その存在は以前より着実に周知されてきているようである。
  - これまでも区だよりに掲載していたが、自治協議会だけの記事を書ける特集号を作るのが良いと思う。
  - （事務局）区だよりで特集号として自治協議会のことを取り上げるといことは難しく、もし行なうとしたら区だよりではなく自治協だよりという形で発行することとなります。
  - まだ発足して4年しかたっていないので焦って広報に力を入れるのも問題である。
  - （事務局）今年度から各コミュニティ協議会の部会間で情報交換会を行っており、現段階では発言権はないものの自治協議会の委員が参加することが可能です。以前第2部会の有志の委員が福祉部会に参加しております。
  - 自治協だよりの発行や区民祭りへの参加については今後自治協議会で検討する必要がある。

- 現場の声を拾う場が必要。会議形式ではなく、事業に参加した人へのアンケートなどを実施したらよいのではないか。
  - 行った事業に対しアンケートなどで区民の意見を聞きそれを来年度以降の事業に活かすということだろうか。
  - アンケートの対象は区民ではなく実行委員会など事業に直接参加した人に対するものなのだと思う。
  - 事業内容によってはアンケートを行なうことで区民の声を吸い上げることは有効である。

◎ 西区の自治協議委員の方々が第1部会の議論を傍聴し、部会終了後に自治協議会や部会のあり方や互いの区での取り組みについて意見交換会を行ないました。

#### ○ 今後の部会の進めかたについて

次回も引き続き、今回に引続き東区自治協議会委員へのアンケート結果を基に1項目ずつ議論することとなりました。最終的には11月の自治協議会本会議で第1部会の提言を報告することを目標に、意見をまとめていく予定です。

#### ○ 次回の開催について

8月は部会を行わず次回の第1部会は9月になります。

- ・ 日時：平成22年9月10日（金） 午前10時～
- ・ 場所：東区役所分館 会議室